

平成22年度 学校自己評価システムシート 最終報告 (県立白岡高等学校)

目指す学校像	自主と奉仕の精神に満ち、社会に貢献する人間を育てる、地域から信頼される学校
--------	---------------------------------------

重点目標	1 確かな学力を育成するために、授業改善をはじめとする学力向上に関する取組を推進する。 2 学校・家庭・地域の結びつきを深めるために、開かれた学校づくりを推進する。 3 生徒一人ひとりの、自立する力を育む進路指導を推進する。 4 豊かな心と健やかな体を有する、明るく活力ある生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	4名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(1月31日現在)		
年度目標					年度評価(1月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の授業態度は概ね良好で、チャイム着席等のマナーも守られている。情報コミュニケーションコースを中心に、検定・資格取得に意欲的な生徒も多い。 学習に対する意欲や興味、関心をさらに高めて学力の向上を図ることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の意欲、興味、関心を引き出す授業改善に取り組む。 生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究を行うための、公開授業週間を設定する。 「学力向上プロジェクトチーム」を発足させ、進学補習体制を強化するとともに、生徒に家庭学習の習慣を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける「意欲的に学習に取り組む生徒」80%以上を目指す。 長期休業中の課題提出率100%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける「意欲的に学習に取り組む生徒」80.4%。目標は達成できた。 長期休業中の課題提出率100%。目標は達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教科が独自に作成しているプリント等の補助教材を、生徒の実態に即して改善する。 今後も通常の授業時以外の長期休業中等に課題を与え、家庭学習の習慣化を図る。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と協力して実施する登校指導や、保護者・地域住民と協力して実施する清掃活動等が定着してきた。 部活動の活躍、奉仕活動の励行、国際交流事業の取り組みや入試選抜基準等、学校から多様に発信することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動や教育活動に関する情報を発信する時期や手段を工夫する。 本校教育活動の特色、選抜の基本方針及び選抜基準を、中学校教職員及び保護者、生徒へ周知徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを全面改訂するとともに職員研修会を実施して、情報を発信する時期や手段を工夫する。 学校説明会の運営を見直すとともに、学校訪問の時期や方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートにおける情報提供に関する保護者の満足度昨年度比10%増を目指す。 入試における通算志願倍率について、普通科、コース共に1.1倍を上回ることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを全面改訂するとともに携帯版ホームページを作成したが、満足度は昨年度65%に対し62%。目標は達成できなかった。 全職員による組織的な中高連携活動を行い、学校説明会参加者数が昨年度比0.16ポイント(参加生徒総数÷募集定員)増加している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページアクセス数が多い時は200件を超える等反響があった。アンケートの質問が漠然としていたため、保護者に評価の観点が変わらなかった。来年度はホームページの更新回数を増やす等より一層の充実を図り、積極的に情報発信すると共に、具体的に評価の観点を示す。 入試の一本化に向けて、説明会の時期や運営方法を見直す。
3	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した指導計画を立て、進路オリエンテーション等を通じて効果的な指導を実現している。 生徒には、各自が希望している進路先の現状を十分に理解させ、自己の適性も考慮した上でよりよい進路選択ができるよう指導することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の能力や個性に応じた的確な進路選択ができるよう指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路オリエンテーション及び就職指導の内容を充実させる。 それぞれの生徒の進路希望を定期的にチェックし、適切な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> フリーター0名を目指す。 就職内定率100%を目指す。 学校評価アンケートにおける3学年生徒及び保護者の満足度90%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で、進路未決定者は11名(大学5名、看護2名、就職4名)である。未決定者0名を目指し指導を継続している。 学校評価アンケートにおける「進路結果に満足している」割合が、3年生徒79%、3年保護者86%であった。(昨年度:3年生徒56%、3年保護者87%) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 世の中の進学・就職の状況が大きく変化していく中で、生徒に早い段階から進路意識を持たせ、各進路に関する正しい情報を基に進路選択するように指導していく必要がある。 各生徒が自己の能力、適性を把握し、それに基づいて的確な進路選択をするように、保護者とも連携をとりながら指導していく必要がある。
4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が守られ、元気のよい挨拶ができる生徒が多い。 部活動、学校行事が活発に行われている。 様々な活動により、一層積極的に取り組む生徒を育成するとともに、リーダーシップを育成することが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の共通理解に基づく、一貫した指導の実践をとおして、生徒が充実した学校生活を送ることができる環境作りに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部会及び生徒指導に関する教職員の研修会を充実させる。 部活動の活動状況の把握等により、部活動の発展拡充を図るとともに、生徒の意欲及び参加率の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部会の一桁を目指す。 県大会以上の大会に出場する部活動12部以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部会の充実、研修などから、生徒指導部数は8件であった。 県大会以上の大会に出場した部活動は10部であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教員の共通理解をより深め、組織的な指導をより充実させる。また、保護者と一体となった指導を進める。 部活動の充実をさらに図るために、2年生からの部活離れを無くす。また、魅力的かつきめ細やかな部活運営が、大切である。

学校関係者評価
実施日 平成23年2月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> 国立大学現役合格者が出たのは素晴らしいことである。 「学力向上プロジェクトチーム」のような、生徒の力を伸ばす取り組みを続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 保護者に向けてのアンケートについては設問に工夫してほしい。 学校が努力して取り組んでいることを、保護者や地域に上手にアピールしてほしい。 白岡高校の入試は年々倍率が上がって、喜ばしい一方、地元の子どもたちが入りやすくなるとの危惧を抱いている。地元中学校との連携を更に深めてほしい。 在校生が出身中学校を訪問するのも有効な方法ではないか。
<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の厳しい中で、本校は実績を残している。厳しい状況は続くが、ぜひ生徒のためにきめ細やかな進路指導体制の充実をより一層お願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 登下校中の自転車事故が目につくことから、マナーアップの推進教育をお願いしたい。 部活動の活躍の様子は、地元の白岡町民注目している。学校広報誌「きらめき」などを活用して、広くアピールしてほしい。